

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成30年9月7日

施設名	高知県立埋蔵文化財センター	所管課	高知県教育委員会文化財課
-----	---------------	-----	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県文化財団	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
施設所在地	南国市篠原1437-1		
事業内容	○施設管理(埋蔵文化財保護の中核施設として最適な施設管理を行う) ○出土文化財等資料管理(出土遺物を適切に保管・管理し県内外からの依頼に応じて貸出等を行う) ○広報普及(発掘調査成果及び出土文化財を広く県民に公開することにより埋蔵文化財に対する保護の推進と普及啓発を図る)		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 面積:本館(1,038.68㎡) 北館(518.40㎡) 南館(1,045.92㎡) 収蔵庫(1,527.52㎡) 開館時間:午前9時～午後5時まで 休館日:土・日・祝祭日、12月29日～1月3日 (巡回展の期間中、公開講座等開催日は開館) 利用料金:無料		
職員体制	常勤職員: 5名		

2 収支の状況

単位:千円

		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
収入	県支出金	44,742	49,118	45,696
	補助金等収入	1,260	1,440	
	その他	839	542	788
	収入計 (a)	46,840	51,100	46,484
支出	事業費	5,105	6,094	8,045
	管理運営費	17,591	23,132	14,672
	人件費	24,144	21,874	23,767
	その他	0	0	
	支出計 (b)	46,840	51,100	46,484
収支差額 (a) - (b)		0	0	0

3 利用状況

	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	4,651	3,884	3,700
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 展示公開(遺跡から出土した土器類の展示や展示解説板による説明)や親子考古学教室等での来館者に対してアンケートを実施し、意見や感想の収集とニーズの把握に努めた。</p> <p>○利用者意見等を踏まえた対策 講座内容の充実や資料作りを行なう際にアンケート結果を参考とした。一例として、出前考古学教室では実物の土器について、実見や実際に触れる等の機会をなるべく多くすることに努めた。</p> <p>○その他 [以下は、アンケート回答の一部] ・中学時代(40年前)の松山市で過ごした時、テニスコートで石墳が見つかり、古墳に興味を持ちました。今回の展示も分かりやすく、今日やっとお邪魔できました。(「企画展」) ・子供と一緒に参加したが途中も声をかけていただき分かりやすかった。(「移動展」) ・不動ヶ岩屋洞窟は山の上にあつて縄文時代の人々はよく見つけたなと思った。貴重な遺産を直接見られおまけに石で矢じりを作る体験ができて良かった。(「史跡の見方」) ・木簡は、当時の情報を今に伝える大事な資料になっているのだと初めて知った。小さな事だが下駄の穴を開け変えていた事に驚いた。これも説明を受けて知った事で、私にとっては大きな事だった(「展示品解説」) ・説明が分かりやすい。出来上がりは今ひとつに思えたがとても記念になる。(「ものづくり体験教室」)</p>		
	③その他特記事項		

4 平成29年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>○協定書、事業計画書の内容に従って概ね適正な管理が行われた。</p> <p>○事故発生はなかったが、万一の時のために消防訓練等を実施し利用者の安全確保に努めた。また、定期的な美化活動日を定め職員により実施した。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>○ホームページをリニューアルし、適宜、情報発信とともに、講座への参加経験者に事業案内を送付する等でリピーター確保に努めた。</p> <p>○公開講座等については、「見てもらう展示」に心がけた内容に努めた。</p> <p>○キッズコーナーの整備や外側からの目を意識したレイアウトによる入りやすい施設づくりに努めた。</p> <p>○職員の研修会を開催し情報共有や知識の研鑽に努め、利用者に対して十分な説明ができるように努めた。</p>
③利用実績	<p>○館外で活動し出前考古学教室は、埋蔵文化財を身近なものとして関心を抱いてもらうことを目的として県内76校(2,569人)を対象に「地域の遺跡」に関する授業と体験学習を行った。また、高知市では、市内の遺跡から出土した遺物展示やワークショップ等の移動展を開催し好評であった。</p> <p>○地道な広報活動をはじめとする日常的な普及推進と埋蔵文化財センターへの親しみと業務に対する理解を得ることを目的として“まいぶんセンターまつり”等を開催した。</p>
④収支の状況	<p>○県からの指定管理代行料に加え外部資金を活用するとともに、経費の節減に努めつつ適正な支出が行なわれている。</p>
総合評価	<p>A</p> <p>○地道な活動や新たな視点の事業を導入し入館者確保に努めている。</p> <p>○親子考古学教室や古代ものづくり教室等の公開講座は好評である。</p> <p>○埋蔵文化財保護の中核施設づくりを目指すなかで、ホームページを活用した情報提供や事業展開により親しみやすさと各種企画展や公開講座等の実施により知名度アップと考古学に対する関心の高まりに努めている。</p> <p>○利用者サービスや施設管理については概ね適正にできている。</p> <p>○埋蔵文化財を身近なものとして理解を深めるために出土遺物等の実物に触れる機会を設けている。</p>